

日韓集会—平和、友好、連帯をめざして!

朝鮮半島から見た日本を考える

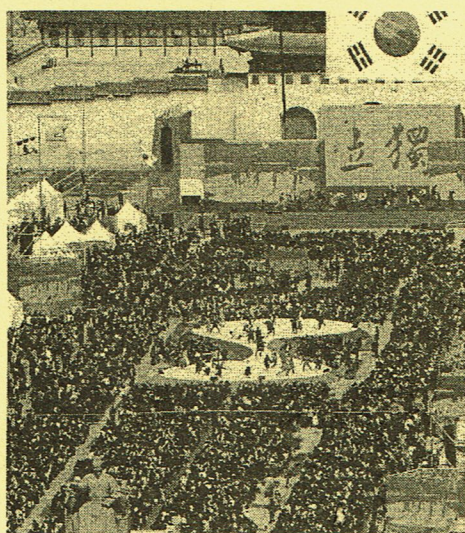
日時: 6月26日(水)

場所: イーブルなごや

午後6時半～

2階視聴覚室(東)

参加費 800円 (地下鉄東別院駅1番出口 東へ3分)



100周年を迎えた3.1独立運動(ソウル)

今年、日本の侵略に抵抗して立ち上がった3・1朝鮮独立運動から100年にあたります。1919年日本軍の厳しい暴力的弾圧にもかかわらず、朝鮮民衆の「民族自決・独立」の闘いは、燎原の火のごとく朝鮮全土に燃え広がり、解放・民主化の波を引き寄せました。その精神は、100年を経ても引き継がれ革新的韓国政権を生み出し、南北首脳会談、米朝首脳会談を実現させ、歴史を「対話による平和」へと切り開いています。

しかし、日本政府は北朝鮮の拉致、核・ミサイル問題、韓国との「慰安婦」、元徴用工問題などで敵対心、排外主義、愛国心をあおり、改憲や軍拡の道へ世論を誘導しています。マスコミなどもこれに追従し、朝鮮半島との関係悪化を容認しています。

日本の動きは、朝鮮民衆が決起した3.1独立運動の精神を嫌悪し、植民地支配を正当化し、反省、謝罪を顧みない負の歴史を積み重ねてきたからにはほかなりません。私たちは、今回韓国の民衆活動家を迎えて、朝鮮半島情勢、徴用工問題など日本の戦後補償問題、韓国の労働運動、民衆運動などについて話を聞きながら、日本のあり方を考えます。ぜひご参加ください。

●講演 韓国民衆運動女性活動家(労働運動・反核運動)

朝鮮半島情勢と日本の戦後補償問題

主催団体、共催団体

「韓国併合100年」東海行動実行委員会、笹島日雇労働組合

不戦へのネットワーク、東海民衆センター

問合せ 080(4530)0024(大西)。 090(1473)0253(井戸)

